

法学入門講座【体系編】(全体構造編)

インターネット受講+
ライブ講義

全1・2回生・公務員・法曹志望の方対象

1・2回生のためのすべての法律学習の基礎となる講座
各種試験の合格に不可欠な基本法の理解が格段にアップする講座！

講座概要

〈基礎の基礎を学ぶ講座〉 合格への近道

本講座は、全くの初学者を対象に、基礎となる重要な基本概念を講義していきます。法律学習は積み重ねです。全体構造や体系・基本概念を理解できていないまま、ただ試験のために短期間に丸暗記しようとするのはとても苦痛で続きません。この【体系編】でしっかりと基礎を理解することが各種試験の合格への近道です。

教材

教材である体系マスター「学ぼうテキスト」は、各科目とも全体像がよくわかるようコンパクトにまとめてあります。

教材は自宅に発送いたします。

(右記ライブ講義時には各自教室に持参してください。)

おすすめポイント

1 学部の講義が格段にわかりやすくなる！

憲法・民法・刑法をはじめとする基本的な7つの法律科目の基本概念・思考法を学べます。大学の講義では充分ふれる余裕のない講義の前提となる重要な基本概念が学べます。

2 各種試験学習・短期合格への不可欠な初めの一步になる！

公務員試験や司法試験・司法書士・行政書士といった法律資格試験準備の他、法科大学院への進学、予備試験、学部試験に大変役立ちます。

3 法律の試験の合理的学習法が分かる！

学問には絶対の方法論などはありません。でも受験勉強には方法論があります。それにしがたがって勉強しないとどんなに努力しても合格には遠くなります。その方法論にのっかる第一歩です。

4 4月からでも学習できる！

インターネット受講は4月からでも受講開始できます。

先輩受講者から「価格的にも内容的にも絶対に損はない」と支持の声を毎年いただいています。

内容・申込方法

| | |
|---------|--|
| 講座名 | 法学入門講座【体系編】 |
| WEB実施科目 | 憲法・民法・刑法・商法・民訴・刑訴・行政法・法律実務 |
| 実施形態 | WEB+憲・民・刑法はライブ講義も実施 |
| 提携校 | 伊藤塾 |
| WEB実施期間 | 2017年4月3日(月)～2018年5月31日(木) |
| 通学実施期間 | 2017年10月3日(火)～2017年12月19日(火) |
| 受講対象 | 1・2回生 |
| 申込期間 | 2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土) |
| 受講料 | 9,720円(税込) |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて受講料を支払ってください。 発行機より出力された申込用紙と、写真1枚(4cm×3cm)を法学部教務課の窓口へ提出してください。 |

■ ライブ実施3科目の通学スケジュール(1コマ90分)

| 日程 | 時間 | 科目 | 教室 |
|----------------|---------------------------------|-------|---------------|
| 2017年 4 / 3(月) | WEBでは4月3日から配信開始します。4/3から学習可能です。 | | |
| 10 / 3(火) | 16:45～18:15 | 憲法1 | 22号館 204教室 |
| 10 / 11(水) | 16:45～19:55 | 憲法2・3 | |
| 10 / 17(火) | 16:45～18:15 | 憲法4 | |
| 10 / 24(火) | 16:45～18:15 | 民法1 | |
| 10 / 31(火) | 16:45～18:15 | 民法2 | |
| 11 / 7(火) | 16:45～18:15 | 民法3 | |
| 11 / 14(火) | 16:45～18:15 | 民法4 | |
| 11 / 21(火) | 16:45～18:15 | 民法5 | |
| 11 / 28(火) | 16:45～18:15 | 民法6 | |
| 12 / 5(火) | 16:45～18:15 | 刑法1 | |
| 12 / 12(火) | 16:45～19:55 | 刑法2・3 | |
| 12 / 19(火) | 16:45～18:15 | 刑法4 | |

インターネット配信期限 2018/5/31 (木)

| 科目 | 通学ライブ担当講師 |
|-------|--------------------|
| 民法 | 山本 有司弁護士(東京弁護士会所属) |
| 憲法・刑法 | 橋本 亮弁護士(大阪弁護士会所属) |

*橋本亮講師は龍谷大学法学部・法科大学院卒業です。

お得に基本7科目のインターネット受講ができる

申込者全員に4月からでも受講可能なインターネット講座が8科目も付いています。時間に余裕があり早くから法律学習を始めてみたい方には、4月からでもすぐ憲法・民法・刑法・商法・民訴法・刑訴法・行政法・法律実務の法律の全体構造が学べる大変お得な講座となっています。法学部での法律学習の基礎の基礎となります。**〈龍大生のみの特典講座です〉**

体系編受講者からのメッセージ

- ・ 分かりやすく説明していただけるため、法律を勉強するのが大変楽しく思えるようになりました。
- ・ 基礎から学んでいくことが出来るので、大学の授業を受けるときにも少し余裕が出てくると思います。勉強法についても教えてもらえるので、とても役に立ちました。
- ・ 1年の後期からの民法の授業がすごく聞きやすくなります。
- ・ この授業を通して法学部の真の面白さをようやく理解できた気がします。
- ・ 知らないことだらけでした。独学ではできないという意味が分かった気がしました。
- ・ 毎回受講するのが楽しみになるほどの授業でした。雑談も面白かったです。

法学入門講座【基礎編】(憲・民・刑の本格的基礎理解)

インターネット講義+
短答・論文答案練習は
龍大教室でも実施します。

2回生以上(法科大学院・国家総合職志望の方は必修)

受講料が戻ってくる。特別奨励研修制度A(1頁)の対象講座

基礎とはいえ一番難しい司法試験の合格レベルを基準にしています。あらゆる志望する試験の合格への盤石の基礎を今のうちに本格的に学びたい方のための講座

講座概要

(本格的法律学習の基礎を学ぶ講座)

本講座では、試験に必要な基礎的な知識をインプット講義で学び、リーガルトレーニングを通じて、知識の定着を図ります。**法律の答案はこう書くのかということもわかります。**

法科大学院・予備試験や国家公務員試験総合職といった難度の高い法律資格試験を目指す方はぜひ受講して下さい。合格には必要十分な講座です。

地方公務員・国家一般職志望の方は、
⇒1年次に法学入門講座【体系編】
⇒2年次にこの【基礎編】の憲法・民法
⇒3年次に公務員講座を受講されると法律科目の理解がすすみ、より容易に得点源となります。

教材

法学入門講座【基礎編】では「入門講義テキスト」を使用します。
テキスト代は受講料に含まれます。

【教材の受渡し】

申込手続き完了後、10日間程度でご自宅に発送いたします。リーガルトレーニングの教室実施日には、書きたい科目の答案の教材をご持参下さい。

講義形態は WEB受講+通学答案練習

(インターネット講義受講とスケジュールリング)

憲法・民法・刑法3科目をすべて受講される方は、1回約1時間の講義で、3時間1コマ単位として、週3回3時間の受講をスケジュールしてインターネット学習をお勧めします。

サークル・ゼミ・バイトなどで週3回3時間が無理な方は夏期休暇などを利用して、スケジュールリングをしましょう。遅れても2018年3月末までを最終期限として、たえず見直し修正することをおすすめします。

自分でしっかりスケジュールリングができるようになるのも合格に大切な学習の一つと言えます。

内容・申込方法

| | |
|---------|--|
| 講座名 | 法学入門講座【基礎編】 |
| 実施科目 | 憲法・民法・刑法(1科目でも申込可) |
| 実施形態 | インターネット受講及びリーガルトレーニングを教室実施 |
| 提携校 | 伊藤塾 |
| 通学実施期間 | 2017年6月9日(火)~2017年12月15日(火) |
| WEB実施期間 | 2017年4月3日(月)~2018年5月31日(木) |
| 受講対象 | 体系編受講者・2回生以上 |
| 申込期間 | 2017年4月1日(土)~2018年3月31日(土) |
| 受講料 | 憲法 13,070円(テキスト代込)(税込) |
| | 民法 13,070円(テキスト代込)(税込) |
| | 刑法 13,070円(テキスト代込)(税込) |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて受講料を支払ってください。発行機より出力された申込用紙と、写真1枚(4cm×3cm)を法学部教務課の窓口へ提出してください。 |

■ 通学ライブ短答・論文答案練習日・質問受け・カウンセリング

| 日程 | 時間 | 科目・回数 | 時間 | 個別相談 | 教室 | |
|-------------------------|-------------|--------------------|-------------|----------------------|---------------|--|
| 2017/6/9(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 憲法1回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | 22号館 205教室 | |
| 短答答案練(30分)+論文答案練1問(60分) | | | | | | |
| 7/14(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 憲法2回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | | |
| 短答答案練(30分)+論文答案練1問(60分) | | | | | | |
| 7/28(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 憲法3回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | | |
| 短答答案練(30分)+論文答案練1問(60分) | | | | | | |
| 9/29(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 民法1回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | | |
| 短答答案練(30分)+論文答案練1問(60分) | | | | | | |
| 10/27(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 民法2回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | | |
| 短答答案練(30分)+論文答案練1問(60分) | | | | | | |
| 11/24(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 民法3回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | | |
| 短答答案練(30分)+論文答案練1問(60分) | | | | | | |
| 12/15(金) | 16:45~18:15 | リーガルトレーニング 民法4回 | 15:30~16:30 | 質問受け・カウンセリング 答案受付 | | |

インターネット配信期限 2018/5/31

*伊藤塾チューターが対応します。

■ リーガルトレーニング通学受講日の個別対応について

短答答案練(30分)+休憩(5分)+論文答案練1問(60分)

前の時間帯では質問受け・受講相談・答案の書き方カウンセリング等を行います。論文答案は添削して郵送返却いたします。(短答答案練は自己採点になります)法律の論文答案は初めは誰もが書けません。でも、とにかくこの講座で法律の基礎を学び、リーガルトレーニングの時間に論文答案といえるものを書いてみましょう。

受講者全員が論文答案を書けるようになるために、この答案練では上記記載の科目・回数ではなくても、この時間帯を使ってご自分の進度に応じて自分で書きたい問題を当日持参して教室で書くということも可能です。また、テキスト等を参照してもかまいません。さらに自宅で作成できるものを作成して、当日教室に持参されても、受付けて添削いたします。**柔軟に個別対応いたします。**

もしそれでも書けなければ、質問受けの時間に答案を持参して質問して下さい。この講座でとにかく法律の論文答案を書く技術を身につけましょう。

<この講座も龍大生のみの大変お得な特別価格となっています>

先輩からのコメント

中嶋 章人さん 龍谷大学法学部4年(2017年3月卒業)

2016年受験
京都大学法科大学院既習合格
神戸大学法科大学院既習合格
同志社大学法科大学院既習合格

伊藤塾のこの基礎マスターと仲間との自主ゼミで合格

私は、伊藤塾の基礎マスターの講義と龍大の先生・先輩を交えた学内の仲間との自主ゼミ(過去問検討)で、合格することが出来ました。

伊藤塾の講師による講義と相性がよかったのか、講義は一度聴くのみで、復習の際、書き込みによってテキスト上で授業を復元できました。特に民事訴訟法は伊藤塾の講義とテキストしか勉強していませんでしたが合格でき、基礎マスターに助けられたと思っています。

法科大学院は基礎マスターと過去問検討のみで十分合格できます。自信を持って勉強して下さい。法職課程で格安で勉強できて感謝しています。

将来弁護士・裁判官・検察官を志す方へ

法科大学院進学と 予備試験の概略説明

あなたが弁護士・裁判官・検察官になるためには
司法試験に合格する必要があります。

〈司法試験の受験資格〉

司法試験の受験資格を得るためには

- 1 法科大学院の卒業か
- 2 予備試験に合格することが必要です。

法科大学院入試には2つのコースがあります。

法科大学院の「既修者コース」と「未修者コース」

通常、法科大学院への進学が第一歩となります。法科大学院は、法学未修者を対象とした「**未修者コース(3年制)**」と、法学既修者を対象とした「**既修者コース(2年制)**」があります。

法科大学院ごとに入学試験が実施されますが、**試験の形式は各法科大学院によって異なります。**試験科目も変更されることもあり、試験制度については最新の情報に注意を払う必要があります。

法学部生でも未修者コース受験も可能です。しかし、憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法の7科目が、法科大学院卒業後に受験する司法試験の必修科目であることから、入学(試験)前の段階で法律7科目の基礎知識をマスターして、論文が書けるよう勉強しておかないと未修者コースであっても入学後の学習についていくのがとても大変になります。

また、近年法科大学院を卒業して法曹という道だけでなく公務員・民間就職を選択する方もでてきています。

適性試験 (法科大学院の受験資格)

「未修者コース」、「既修者コース」のいずれであっても、法科大学院に進学するためには、まず適性試験を受験しなければなりません。適性試験は法科大学院における教育に不可欠な基礎学力である判断力、思考力、分析力、表現力等の資質を判定することを主たる目的とするものであり、その結果は、各法科大学院が実施する入学選抜試験において、合否判定の要素とされます。例年5月末と6月初めに2回実施。どちらか1回だけの受験でも、2回受験してもかまいません。ただ2017年は6月に2回行われます。

予備試験

司法試験予備試験(以下、予備試験)は、法科大学院を経由しない者にも法曹資格取得する途を開くために設けられるもので、合格した者は法科大学院修了者と同等の資格で司法試験を受験することができます。予備試験には受験資格の制限等はなく、短答式及び論文式による筆記並びに口述の方法により行われます。

試験科目は、司法試験と同じ7科目に一般教養科目と法律実務基礎科目を併せたものです。

適性試験等現在の状況

適性試験は任意化が検討されていますが、2017年の段階では法科大学院入学には必要となります。また、現在予備試験の受験者が法科大学院受験者よりも多くなっています。在学中に予備試験の合格を目指して学習し、法学部在学中の4年次に、あるいは法科大学院在学中に司法試験合格を目指す学生が増えています。法科大学院に入ってから法律の勉強をはじめれば良いと思っは相当大変です。司法試験合格を目指す方は、**法科大学院入学前からの法律学習**が法科大学院卒業と同時に司法試験に合格するためには必要であるといえます。

法科大学院進学志望の4回生対象

2017適性試験 公開模試

教室実施&
解説インターネット

2017年受験/2018年入学目標

受講料が戻ってくる。特別奨励研修制度B (1頁)の対象講座

講座概要

〈2017年適性試験対策の総まとめができる〉

過去の本試験の出題傾向に基づいた問題と、出題が予想される問題で構成され、かつ本試験と同様のレベルの問題を時間内に解く訓練をすることにより、適性試験対策の総まとめができます。

〈本試験の時間感覚を体得することができる〉

本試験と同様の時間帯で実施される模試を受講することにより、本試験の時間感覚を体得することができます。本試験の時間配分に慣れ、時間内にいかに得点するかを最終確認し、本試験に臨みましょう。

講義形態・受講対象・教材ほか

〈適性対策講座〉 2017適性試験公開模試 全3回
プラス仕上げ演習

〈受講対象〉 2018年入学目標で、2017年に受験される方。

〈教材について〉 教室にて配付します。

〈公開模試の科目と時間〉

第1部[論理的判断力を測る問題] 40分

第2部[分析的判断力を測る問題] 40分

第3部[長文読解力を測る問題] 40分

第4部[表現力を測る問題] 40分

※個人成績表は各人に郵送します。

総合成績表・講評はインターネットに掲載

内容・申込方法

| | |
|------|--|
| 講座名 | 2017適性試験公開模試 |
| 提携校 | 伊藤塾 |
| 受講料 | 14,040円(税込) |
| 受講対象 | 2017年に受験する4年次生 |
| 申込期間 | 2017年4月3日(月)～2017年4月12日(水) |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて受講料を支払ってください。 発行機より出力された申込用紙と、写真1枚(4cm×3cm)を 法学部教務課の窓口へ提出してください。 |

■ 通学スケジュール

| 日程 | 時間 | 科目 | 教室 |
|--------------|-------------|--------|---------------|
| 2017/4/14(金) | 12:30～16:50 | 公開模試1回 | 21号館 101教室 |
| 4/28(金) | 12:30～16:50 | 公開模試2回 | |
| 5/12(金) | 12:30～16:50 | 公開模試3回 | |
| 5/19(金) | 12:30～16:50 | 仕上げ演習 | |

※解説はインターネット受講となります。配信期限2017/6/30(金)

※仕上げ演習は1部・2部・3部を各40分で実施で自己採点となります。

公務員講座「地方上級・国家一般職コース」

国家公務員一般職をはじめ、幅広い試験の併願を考えている方にお勧め！

講座概要

このコースは、国家一般職・地方上級(都道府県・政令指定都市など)・市役所(市町村)に対応したコースです。

【ポイント】

1. コース全体

合格に必要なインプット(講義)とアウトプット(演習や各種試験)が組み込まれており、公務員受験に必要な知識とスキルの習得が可能です。

2. 専門科目

- (1)正課授業や課外活動との両立を考慮して、法学部の正課講義で学習済みの「憲法」「民法」をWeb講義とし、皆さんの状況に応じた学習を可能としました。
- (2)一方、苦手な科目になりがちな「経済学」についてはライブ講義で実施します。苦手意識を持ちやすい科目だからこそ、毎回の講義を欠かさず受講して、必要な知識を少しずつ習得してください。

～法学部以外の皆さんへ～

法学部以外の皆さんにとっても、授業回数が非常に多い公務員講座専門科目において、「経済学」はライブで、「憲法」と「民法」はWeb受講で皆さんの都合に合わせて受講できることにより、正課授業や課外活動との両立がしやすくなり、大いにメリットがあります。

(3)専門科目は基本講義の最終回に基礎演習を実施します。その科目の習得度合いを基本講義終了時に確認することができるため、復習の良き指針となります。

3. 教養科目

- (1)教養科目は「数的処理」を除いて、全てWeb受講となります。高校時代の学習状況、志望先の出題傾向等、皆さん自身の状況に応じてメリハリをつけて受講することができます。
- (2)「数的処理」は公務員試験にとっては非常に重要な科目になりますので、この科目のみライブ講義で実施します。毎回の講義を欠かさず受講して、数的処理を得意科目にしてください。

教材

1. テキスト

オリジナルテキストを提供いたします。コンセプトは「これだけで合格できる教材」。

- (1)初学者にも分かりやすいよう、丁寧な解説や図解を用いて説明する。
- (2)公務員試験に必要な情報を網羅する。他の参考書を必要としない教材を提供し、短期間で効率よくレベルアップを図ります。

2. 実戦問題集

合格ラインに達する実力を養成するためには、過去に出題された問題を数多く解くことが必要です。この実戦問題集は、過去の問題を十分に分析研究し、学習しやすいように配列することで、頻出問題を繰り返し学習できるように構成しています。また、各問題の解説は復習や直前の総まとめがしやすいように、詳しく書かれています。

講義形態

1. ライブ講義

コース全体の講義回数は182回ですが、そのうちの約6割にあたる111回をライブ講義で実施します。

ライブ講義のメリット

- (1)プロ講師の熱意がダイレクトに伝わる！
- (2)学習ペースを一定に保てる
- (3)疑問があったら即解消！

万が一、欠席してもその回をWebにて受講することができます。

2. Web講義

専門科目「憲法」「民法」と教養科目(数的処理を除く)はWeb講義となります。

Web講義のメリット

- (1)分からなかったところを戻って視聴できる
- (2)自分の都合に合わせて受講できる
- (3)短期間で一気に学習できる

この講座にそって一步一步確実にマスターすれば、合格は難しいことではありません。
この講座を信じて手を広げずに勉強を継続できるか否かが決め手になります。

自分が志望する公務員職を決める

公務員の種類

ひとくちに公務員といっても、とてもたくさんの種類があり、そのため様々な試験があります。自分がなりたい、受験したいと思う公務員をはっきり決め、そこから併願できそうな他の公務員も視野に入れて考えていかないと受験のために必要な学習内容・学習量も決まらないという面があります。

1 国家公務員(国家の各省庁のもとで働きます)

- 国家公務員総合職(事務系の法律区分であれば毎年採用がある。試験勉強は司法試験を受験する程度の勉強量が必要です)
- 国家公務員一般職(多くの大学生が通常受験するのはこちらの一般職となります。各省庁でその事務のエキスパートとなります)
詳しくは、[人事院のホームページ](#)をご覧ください。

(その他)

裁判所職員・労働基準監督官・国税専門官・財務専門官・衆議院事務局・参議院事務局・国立国会図書館などの専門職の募集もあります。自分が興味がある省庁のホームページを検索してご覧になると、仕事内容・募集・試験に関する色々な情報を得ることができます。

2 地方公務員

- 地方上級 都道府県庁の職員
(各都道府県のホームページ)
- 市町村・区役所の職員
(各市町村のホームページ)

地方公務員に関しては身近でイメージしやすい仕事といえます。志望される方は、自分が働きたい地方公共団体のホームページを早いうちにご覧になって仕事内容・募集状況・試験についての情報を得ておくことは不可欠です。

試験対策

志望先の情報収集

自分が志望する公務員が決まったら、その採用試験ではどんな試験科目があるのかを確認します。志望先の官庁や地方公共団体が今どんなことに関心があるのかも含め情報を収集することが大切です。「なぜ、志望したのか」は学習の動機付けのみならず面接対策でもとても重要になります。

大きく4つの試験対策が必要です

大卒程度の公務員試験では通常この4つのすべてが必要となりますが、一部で足りる公務員試験(警察・消防など)もあります。また地方公共団体では科目の比重も異なります。

- | | |
|----------|----------|
| 1 教養試験対策 | 2 専門試験対策 |
| 3 論文試験対策 | 4 面接試験対策 |

独学か講座を利用するか

以上のように公務員試験は範囲が非常に広く、独学で勉強の方法論を間違えると、どんなに努力しても合格から遠ざかる危険性があります。ただ、講座を利用するとその費用が負担になります。また「ひとまず勉強してみて自分に合格できそうなものかどうかを確認したい」方もいらっしゃると思います。

そこで、今回、法学部生向けに正課授業で学習している「憲法」「民法」をWeb受講にして教室授業回数を減らしつつも国家一般職や地方上級試験にチャレンジできるコースを設ける一方、独学でチャレンジされる方の最後の手助けとなる直前対策コースも別途用意し、皆さんの学習スタイルに合った選択ができるようにご用意しました。

国家公務員一般職をはじめ、幅広い試験の併願を考えている方にお勧め！

カリキュラム

■ 全182回（ライブ講義111回、Web講義71回）

| 科目 | | 基本講義 | | 基礎演習 | | 直前対策 | | 合計 | |
|------|-----------|--------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|
| 専門科目 | 法律系 | 憲法 | 9回 | Web | 1回 | Web | 2回 | ライブ | 12回 |
| | | 民法 | 16回 | Web | 2回 | Web | 4回 | ライブ | 22回 |
| | | 行政法 | 11回 | ライブ | 1回 | ライブ | 2回 | ライブ | 14回 |
| | 経済系 | ミクロ経済学 | 11回 | ライブ | 1回 | ライブ | 2回 | ライブ | 14回 |
| | | マクロ経済学 | 10回 | ライブ | 1回 | ライブ | 2回 | ライブ | 13回 |
| | | 財政学 | 5回 | ライブ | 1回 | ライブ | 2回 | ライブ | 8回 |
| | | 経済事情 | 4回 | ライブ | - | - | - | - | 4回 |
| 行政系 | 政治学 | 8回 | ライブ | 1回 | ライブ | 2回 | ライブ | 11回 | |
| 教養科目 | 数的処理 | 数的処理 | 20回 | ライブ | 3回 | ライブ | 4回 | ライブ | 27回 |
| | 文章理解 | 文章理解 | 4回 | Web | 1回 | Web | - | - | 5回 |
| | 社会科学 | 政治 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | | 経済 | 4回 | Web | - | - | - | - | 4回 |
| | | 社会 | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 |
| | 人文学科 | 日本史 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | | 世界史 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | | 地理 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | 自然科学 | 物理 | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 |
| | | 化学 | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 |
| 生物 | | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 | |
| その他 | 論文作文対策 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 | |
| | 時事白書対策 | 4回 | ライブ | - | - | - | - | 4回 | |
| | 面接・官庁訪問対策 | 2回 | Web | - | - | - | - | 2回 | |
| 科目 | | 教養 | | 専門 | | | | | |
| 試験 | 基礎力判定試験 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 | |
| | 実戦力判定試験 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 | |
| | 公開模試国家一般職 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 | |
| | 公開模試地方上級 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 | |

内容・申込方法

| | |
|------|---|
| 講座名 | 地方上級・国家一般職合格講座 |
| 実施形態 | ライブ講義+Web講義 |
| 実施教室 | 22号館305教室(1/31・2/1・2/17は和顔館B105教室) |
| 実施期間 | 2017年5月～2018年4月(予定) |
| 受講料 | 137,590円(税込) |
| 受講対象 | 2・3年生以上 |
| 申込期間 | 2017年4月1日(土)～ |
| 申込方法 | 証明書自動発行機より出力された申込用紙を法学部教務課の窓口にて提出してください。法学部教務課窓口にて振込用紙をお渡し致します。 |

ポイント！

ライブ講義にはWeb講義を標準装備しています。欠席した時にWeb講義を自宅にて受講できる他、復習のためWeb講義にて再受講することも可能です。

市役所等教養科目合格講座

～政令指定都市以外の市役所(市町村)等、教養科目のみで受験できる自治体を希望されている方向け～

※この講座の内容は「地方上級・国家一般職合格講座」のうち、教養科目に関するカリキュラムを抜粋したものです。

講座概要

このコースは、政令指定都市以外の市役所(市町村)等、専門科目が出題されない試験に対応したコースです。

【ポイント】

1. コース全体

合格に必要なインプット(講義)とアウトプット(演習や各種試験)が組み込まれており、公務員受験に必要な知識とスキルの習得が可能です。

2. 教養科目

- (1)教養科目は「数的処理」を除いて、全てWeb受講となります。高校時代の学習状況、志望先の出題傾向等、皆さん自身の状況に応じてメリハリをつけて受講することができます。
- (2)一方「数的処理」は公務員試験にとっては非常に重要な科目になりますので、この科目のみライブ講義で実施します。毎回の講義を欠かさず受講して、数的処理を得意科目にしてください。

教材

詳細は「地方上級・国家一般職コース」の教材説明をご確認ください。

講義形態

詳細は「地方上級・国家一般職コース」の教材説明をご確認ください。

カリキュラム

■ 全66回(ライブ講義35回、Web講義31回)

| 科目 | | 基本講義 | | 基礎演習 | | 直前対策 | | 合計 | |
|------|-----------|------|-----|------|----|------|----|-----|-----|
| 教養科目 | 数的処理 | 数的処理 | 20回 | ライブ | 3回 | ライブ | 4回 | ライブ | 27回 |
| | 文章理解 | 文章理解 | 4回 | Web | 1回 | Web | - | - | 5回 |
| | 人文科学 | 日本史 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | | 世界史 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | | 地理 | 5回 | Web | - | - | - | - | 5回 |
| | 自然科学 | 物理 | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 |
| | | 化学 | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 |
| 生物 | | 3回 | Web | - | - | - | - | 3回 | |
| | 時事白書対策 | | 4回 | ライブ | - | - | - | - | 4回 |
| | 面接・官庁訪問対策 | | 2回 | Web | - | - | - | - | 2回 |
| 科目 | | 教養 | | 専門 | | | | | |
| 試験 | 基礎力判定試験 | | 1回 | ライブ | - | - | - | - | 1回 |
| | 実戦力判定試験 | | 1回 | ライブ | - | - | - | - | 1回 |
| | 公開模試国家一般職 | | 1回 | ライブ | - | - | - | - | 1回 |
| | 公開模試地方上級 | | 1回 | ライブ | - | - | - | - | 1回 |

内容・申込方法

| | |
|------|---|
| 講座名 | 市役所等教養科目合格講座 |
| 実施形態 | ライブ講義+Web講義 |
| 実施教室 | P6,7の「地方上級・国家一般職合格講座」と同じ教室です |
| 受講料 | 49,980円(税込) |
| 受講対象 | 2・3年生以上 |
| 申込期間 | 2017年4月1日(土)～ |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて受講料を支払ってください。 発行機より出力された申込用紙を法学部教務課の窓口へ提出してください。 |

ポイント!

ライブ講義にはWeb講義を標準装備しています。欠席した時にWeb講義を自宅にて受講できる他、復習のためWeb講義にて再受講することも可能です。

公務員試験直前対策講座

～独学で学習したものの、その年の最新情報とアウトプットトレーニングを行いたい方へ～

※この講座の内容は「地方上級・国家一般職合格講座」のうち、直前対策に関するカリキュラムを抜粋したものです。

講座概要

このコースは、主に独学で学習されてきた方が、直前期(2018年1月以降)にその年の最新情報を「経済事情」と「時事白書対策」講義にて入手し、アウトプットトレーニングを各種試験や模擬試験で行うことができる超コンパクトなコースです。

教材

詳細は「地方上級・国家一般職コース」の教材説明をご確認ください。

講義形態

詳細は「地方上級・国家一般職コース」の教材説明をご確認ください。

カリキュラム

■ 全16回(ライブ講義16回)

| 科目 | | 基本講義 | | 基礎演習 | | 直前対策 | | 合計 |
|----|-----------|------|-----|------|-----|------|---|----|
| 講義 | 経済事情 | 4回 | ライブ | - | - | - | - | 4回 |
| | 時事白書対策 | 4回 | ライブ | - | - | - | - | 4回 |
| 科目 | | 教養 | | 専門 | | | | |
| 試験 | 基礎力判定試験 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 |
| | 実戦力判定試験 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 |
| | 公開模試国家一般職 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 |
| | 公開模試地方上級 | 1回 | ライブ | 1回 | ライブ | - | - | 2回 |

内容・申込方法

| | |
|------|--|
| 講座名 | 直前対策講座 |
| 実施形態 | ライブ講義 |
| 実施教室 | P6,7の「地方上級・国家一般職合格講座」と同じ教室です |
| 受講料 | 28,080円(税込) |
| 受講対象 | 2・3回生以上 |
| 申込期間 | 2017年4月1日(土)～ |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて受講料を支払ってください。 発行機より出力された申込用紙を法学部教務課の窓口 提出してください。 |

ポイント!

ライブ講義にはWeb講義を標準装備しています。
欠席した時にWeb講義を自宅にて受講できる他、
復習のためWeb講義にて再受講することも可能です。

公務員講座の運営を委託する「資格の大原」で合格された方の声をご紹介します。

大原公務員講座合格者の声 中尾 厚博さん

- 大原で学んで良かったことを教えてください。
授業も分かりやすかったですし、いつでも相談できる状態であったのが良かったです。勉強で行き詰まった時や、進路に悩んだ時などに力になって下さったので助かりました。親身になって指導してもらえた実感しているので、大原で学んで本当に良かったと思っています。
- テキスト・問題集で良かった点
分かりやすいテキストだったので助かりました。繰り返していくうちに自分の力になっていくのが実感できました。
- 学校生活と受験勉強の両立方法について
メリハリをつけることが大切だと思います。
- これから学ぶ人へのアドバイスをお願いします。
あきらめずに、本気でやれば自分でも合格することができたので、気持ちを強く持って頑張ってください!

行政書士合格講座

カリキュラム



※名称については変更の可能性があります。

講義形式

ライブ講義にて実施します。講師の情熱あふれる講義を、同じ目的を持った仲間と一緒に受講します！

さらに、Web講義を標準装備しています。欠席した時にWeb講義を自宅にて受講できる他、復習のためWeb講義にて再受講することも可能です。

教材

1. 基本教材

- (1) テキスト
合格ノウハウを凝縮したオリジナルテキスト。
- (2) トレーニング問題集
テキストと完全連動型の問題集。

2. 問題演習

- (1) 定例試験
科目毎に試験がありますので、理解度・実力を直ぐに確認でき、弱点を補いながら学習を進めることができます。民法と行政法には記述式問題もついています。

内容・申込方法

| | |
|------|---|
| 講座名 | 行政書士合格講座 |
| 実施形態 | ライブ講義 |
| 実施教室 | 別途ご案内致します。 |
| 実施期間 | 2018年2月ごろ～(予定) |
| 受講料 | 49,980円(税込) |
| 受講対象 | 2・3年生以上 |
| 申込期間 | 2017年4月1日(土)～ |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて受講料を支払ってください。発行機より出力された申込用紙を法学部教務課の窓口へ提出してください。 |

行政書士とは、行政書士法に基づいた国家資格者です。コンサルティングから書類作成まで、持てる法律知識をフル活用し、お客様をトータルサポートする、それが行政書士の仕事です。

行政書士とは

ビジネスの現場では…

「会社を設立したい」「外国人を雇いたい」「貨物運送を始めたい」「定款などの作成や契約書を作成するには」「介護事業を開始したい」「自社の土地を利用するには」「建設業の許可を取りたい」等

私生活の面では…

「遺言書や相続に困ったら」「自動車を買ったり、売ったりの手続きは」「大切な約束を文章にしたい」「自己の土地を有効利用するには」等

近年、国民生活と行政の関係はより一層増しており、住民等が官公署に書類を提出する機会が多くなっています。また、社会生活の複雑高度化等に伴い、その作成に高度の知識を要する書類も増加しており、行政書士の活躍が一層期待されるところです！

行政書士の仕事

作成できる書類は9,000種類以上！書類作成からコンサルティングまで、持てる法律知識をフル活用しお客様をトータルサポートいたします。

1. 書類作成業務

- (1) 官公署に提出する書類
 - ・ 建設業許可関係
 - ・ 運送事業許可関係
 - ・ 外国人の出入国 等
- (2) 権利義務に関する書類
 - ・ 各種契約書
 - ・ 遺産分割協議書
 - ・ 会社設立の際の定款 等
- (3) 事実証明に関する書類
 - ・ 各種名簿、資格証明
 - ・ 財務諸表 等

2. 不服申し立ての代理業務

(特定行政書士のみ)

行政書士が作成した官公署に提出する書類にかかる許認可等に関する不服申し立ての手続きについて代理し、その手続きについて官公署に提出します。

行政書士資格をとるメリット

1. 業種を問わず広く社会で通用する

2. 行政書士有資格者は就職や転職に有利

行政書士資格を履歴書に書けば注目度が上がります。あらゆる企業が日常的に法律の知識を利用して仕事をしているので、幅広い業務においてニーズがあります！

3. 学習内容は公務員試験にも活かせる

行政書士は、法律系資格の登竜門としてもニーズの高い資格です。行政書士試験の受験科目である憲法・民法・行政法・商法などの知識は、他の資格試験にチャレンジする場合にも役立ち、ステップアップにも最適です！また、公務員を目指す大学生は1,2年生のうちに行政書士の学習をしておく、公務員の学習にも生きてきます。

4. 独立開業もできる！

行政書士は、一度合格さえすればいつでも独立開業することができる、一生ものの資格です。

本試験データ・スケジュール

平成27年(2015年)データ

◆受験者数：44,366人 ◆合格者数：5,820人

◆合格率：13.12%

◆試験科目：

基礎法学、憲法、行政法、民法、商法(会社法)、政治経済社会、情報通信・個人情報保護、文章理解の合計8科目

◆合格基準点：300点中180点で合格。ただし一定の科目に基準点の設定があります。

～スケジュール～

◆例年7月ごろ

願書配布

◆例年8月～9月上旬ごろ

受験申込み受付(出願)

◆例年11月第2日曜日

本試験

◆例年1月下旬

合格発表

法科大学院入試対策ゼミ

講座概要

- このゼミは、ロースクール(既修者コース)の合格を目指す講座です。
- 講師が各受講生の論文答案を添削した上、当該問題及び答案の書き方について解説します。解説においては、講師から受講生に質問するなどして思考のフィードバックを行い、答案作成の際の法的思考過程を検証しながら、法的思考力の強化を図っていきます。
- 本ゼミは、法的思考力の基本的トレーニングに重点をおいて進めますので、上位校のロースクールを目指す人や高順位での合格を目指す人は、ぜひ受講を検討してください。
- なお、本ゼミでは原則として司法試験過去問題等を使用します。

受講形態について

- 1)勉強する分野
原則的に憲・民・刑の3科目です。
- 2)授業までにすること(初回除く)
自宅で答案作成、授業の3日前までに送付
当日講評の流れです。
詳しいことは初回の講義にて説明します。

講師

野嶋 直 講師(弁護士)
山岡 大 講師(弁護士)
浅田 和樹 講師(弁護士)
石坂 省悟 講師(弁護士)
福山 佳孝 講師(弁護士)

内容・申込方法

| | |
|------|------------------------------------|
| 実施期間 | 2017年5月6日(土)～2018年2月24日(土) |
| 受講対象 | 法科大学院への進学を目指す、龍谷大学在学学生および卒業生 |
| 定員 | 5名程度 |
| 受講料 | 25,920円(税込) |
| 申込期間 | 2017年4月3日(月)～ |
| 申込方法 | 証明書自動発行機にて申込書を購入の上、法学部教務課へ提出して下さい。 |

■スケジュール

| 回数 | 日程 | 時間 | 教室 | 担当者 |
|----|---------------|-------|--------------|--|
| 1 | 2017年 5/ 6(土) | 3・4講時 | 4号館 401教室 | 野嶋 直 講師 山岡 大 講師 浅田 和樹 講師 石坂 省悟 講師 福山 佳孝 講師 |
| 2 | 5/13(土) | | | |
| 3 | 5/20(土) | | | |
| 4 | 5/27(土) | | | |
| 5 | 6/ 3(土) | | | |
| 6 | 6/10(土) | | | |
| 7 | 6/17(土) | | | |
| 8 | 6/24(土) | | | |
| 9 | 7/ 1(土) | | | |
| 10 | 7/ 8(土) | | | |
| 11 | 7/15(土) | | | |
| 12 | 7/22(土) | | | |
| 13 | 7/29(土) | | | |
| 14 | 9/30(土) | | | |
| 15 | 10/ 7(土) | | | |
| 16 | 10/14(土) | | | |
| 17 | 10/21(土) | | | |
| 18 | 11/11(土) | | | |
| 19 | 11/18(土) | | | |
| 20 | 11/25(土) | | | |
| 21 | 12/ 2(土) | | | |
| 22 | 12/ 9(土) | | | |
| 23 | 12/16(土) | | | |
| 24 | 2018年 1/ 6(土) | | | |
| 25 | 1/13(土) | | | |
| 26 | 1/20(土) | | | |
| 27 | 2/ 3(土) | | | |
| 28 | 2/10(土) | | | |
| 29 | 2/17(土) | | | |
| 30 | 2/24(土) | | | |